

認知症になっても安心して暮らせる社会を

2023 DECEMBER

No. 521

12

月刊 POLE-POLE (スワヒリ語)

ぼ～れぼ～れ

ゆっくり やさしく おだやかに



「ぼ～れぼ～れ群馬県支部版」

わたぼうし

No.484

認知症の人と家族の会

理念

認知症になったとしても、介護する側になったとしても、人としての尊厳が守られ日々の暮らしが安穩に続けられなければならない。認知症の人と家族の会は、ともに励ましあい助け合って、人として実りある人生を送るとともに、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現を希求する。

巻頭言

認知症基本法を具体化するための取り組み

6月に成立した「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、その基本理念において「すべての認知症の人が、基本的人権を享有する個人として、自らの意思によって日常生活及び社会生活をできるようにする」、「その家族等に対する支援が適切に行われることにより、認知症の人及び家族等が地域において安心して生活を営むことができるようにする」と謳っています。

この基本法の理念を具体化するためには、私たちの不断の努力が不可欠です。「家族の会」は大詰めを迎えた次期介護保険改定の中で、負担増の動きは基本法の趣旨に反すると捉えて取り組みました。他の協力団体とも連携し、社会保障審議会で鎌田代表、花俣副代表が論陣を張り、専門委員会の委員はその情報をまとめ、事務局はそれを会員と共有するために発信し続けました。12月13日には、「緊急要望書」も提出しました。その動きは目を見張るものでした。

結果、負担増の項目を3年間先送りにするという成果を得ました。不断の努力の始まりを強く感じることができた取り組みでした。

目次

巻頭言

認知症基本法を具現化するための取り組み

おたよりから 1頁

報告 12月の県央のつどい 3頁

介護保険改定を巡る動き 3頁

「家族の会」要望書と2割負担拡大の先送り 3頁

「へわが家の認知症ケア手帳」④③ 4頁

渡辺医院院長（当会顧問） 渡辺俊之 4頁

新しい治療薬「レカネマブ」の価格決まる 4頁

編集後記 4頁

これからの予定

● 1月14日（日） 渋川つどい 10時～12時 渋川市中央公民館

● 1月20日（土） 館林つどい 10時～12時 館林市中部公民館

● 1月28日（日） 県央つどい 10時～12時 県社会福祉総合センター 7階701会議室

● 2月10日（土） 10時～16時 認知症介護家族支援講座・前橋会場 県社会福祉総合センター 2階202会議室

● 2月10日（土） 10時～16時 認知症介護家族支援講座・前橋会場 県社会福祉総合センター 2階202会議室

● 2月10日（土） 10時～16時 認知症介護家族支援講座・前橋会場 県社会福祉総合センター 2階202会議室

● 2月10日（土） 10時～16時 認知症介護家族支援講座・前橋会場 県社会福祉総合センター 2階202会議室

● 2月10日（土） 10時～16時 認知症介護家族支援講座・前橋会場 県社会福祉総合センター 2階202会議室

● 2月10日（土） 10時～16時 認知症介護家族支援講座・前橋会場 県社会福祉総合センター 2階202会議室

● 2月10日（土） 10時～16時 認知症介護家族支援講座・前橋会場 県社会福祉総合センター 2階202会議室

電話相談

◎群馬県支部（群馬県からの委託事業）

認知症の人と家族のための電話相談

027（289）2740

◎本部フリーダイヤル

0120（294）456



X(旧 Twitter) やってます



おたよりから



一人で泊まるのか？

先日、保育園児の孫がインフルエンザにかかり、私が一日看護に行くことになりました。夫への感染が心配されることと二人の孫を見ながらの介護は大変であることを考え、以前より考えていたショートステイを利用してみることにしました。

前日の夜ゆっくりと一晩宿泊してほしい旨を説明した時には「じゃ俺は泊りに行くよ。」とは言っていたものの、送っていった時には「俺が一人で泊まるのか？」と不安そうな顔をしていました。

実際の様子では自分の部屋という意識はなく、部屋から出て「多分奥様を探していたのだと思います」との職員さんの言われるように、夜中も目覚めると施設内を歩き回っていてあまり眠れなかったようです。

報告書には「夜間の徘徊が見られました」との記載がありました。翌日迎えに行くとなんかうれしそうに夫に「とってはつらい体験だったのだから感じました。」

介護の工夫の情報が欲しい

最近とみにわからないことが増えてきた夫は、雨の日や夜間は何をしてもいかもわからず「どうしようかな」の一人言を繰り返しています。

トイレの便座を上げるのも、使用後流すのもほとんどできなくなってきたおり病気の進行が実感されます。

これからの介護は少しずつ困難が増えていくでしょうね。同じような中程度の人の介護の工夫などの情報が欲しいです。

(*以上2篇は同じ方から届いたお便りです。皆さまもどうぞお寄せください。)

レカナマップの費用は？

急な用事や孫などが来たりして、中々出席が出来ず申し訳ありません。

ところで、エーザイ製薬のレカナマップは今月中に保険適用になると聞いておりますが、如何でしょうか。その場合、費用はおよそどの位になるのでしょうか。お分かりになる範囲で結構なのでお知らせいただければ幸いです。



母一人、子一人の介護で、子がコロナに感染した時
母の在宅介護の支援の手だては何かあるのでしょうか？

新井淳一

最近母の様子も変わりなく、普通の生活を送っていましたが、ショートステイの利用時に、職員一人が新型コロナウイルスに感染したため、5日間の施設フロア閉鎖となりました。

その職員とは利用最終日に接触しており、5類移行前の基準では濃厚接触者ということになりますが、現基準では定義がないため、帰宅前に抗原検査を行い陰性ならばそのまま帰宅できるということでした。幸い母は陰性であり、他の入所者、利用者の感染もなく、次回の利用が一日減ってしまいう程度で済みました。

ただ翌日のデイサービスも抗原検査陰性確認後利用可能となりました。そこで、いろいろなケースについて

の利用可否について問い合わせる中で、同居介護者が発熱、感染した場合、

利用者本人に症状がなく陰性確認ができて、デイサービスは利用不可となってしまうということであり、私のように一人の家族が一人の要介護者を見る場合、介護家族が発熱して介護できない状態になってしまったら、社会の援助はなくなってしまい終わりであり、心中でもする以外ないなど感じました。

このような場合の生きる手立てはあるのでしょうか。

なるべく誰とも接触せず、引きこもりのような状態で介護を続けなければならぬのでしょうか？

それでも私は特別養護老人ホームなどへの入所は、経済的な理由も含めてさせたくありません。

(*新井さんは、お便りの中で示したようなケースに対し、何か支援の手だてはないのだろうか、と問いかけています。何か良い知恵がありましたらぜひお寄せください。また、このように思うのは、わがままだろうか、とも投げかけておられます。この点についても感想などありましたらお寄せ下さい)



報告

2023 年締めくくりの県央のつどい

さながら男性介護者のつどい

12月17日、いつもと違い5階501会議室で県央のつどいを開催しました。この日は、「この最近の常連である「妻を介護する夫」、「母を介護する息子」4人の参加者で、さながら「男性介護者のつどい」の趣でした。

Aさんは、このところ妻の衰えが進み、どうにかしてやりたいが思うに任せない心の内を語ってくれていました。水を向けられれば訥々と語るといった方でした。でも、ほとんど欠席はしなかったところに、私たちはAさんの「家族の会」への思いを汲み取っていました。

この日、Aさんの口から10日ほど前に妻が亡くなられたことが告げられました。私たちは、この日最年長の出席者Dさんの提案で黙とうをささげ、哀悼の意を表しました。

Bさんは、新しい薬「レカネマブ」についての情報を希望されて参加されました。マスクミ報道以上の情報は得られていませんでしたが、まだ群馬県内で治療してくれる病院の情報はないことなどお伝えしました。

この話題の最後に、Bさんは「なんとか治してやれないものかと思つて」と、つぶやかれました。

母を介護されているCさんは、女手一つで育ててくれたことに報いるため、最後まで在宅で介護したいという強い思いを持たれています。コロナ禍やさまざまな困難を、Cさんの努力と周囲の協力によって、今日まで続けてきています。

限界はあると思いますが、こうした思いを一つずつ形にする取り組みの広がりを期待したいと思います。

Dさんの妻は、意味性認知症。Dさんがいないと不安で、いつも一緒に行動しています。

この日も同伴され、つどいの2時間ニコニコと過ごされていました。しかし、介護サービスは、週3回の訪問介護の生活援助以外は利用できません。「今は、大きな心配事はないが、自分が面倒みられなくなったときが心配」とDさんは淡々と語られました。

介護保険制度改定を巡る動き

●「介護のある暮らしを支えるための緊急要望書」●

12月13日「家族の会」が提出

その後、「2割負担」拡大先送り などの方針決まる

成立した「共生社会の実現を推進 ① 介護保険サービスの利用者負担するための認知症基本法」(基本法) 割合は現行を維持してください

の趣旨に反するかのような介護保険の負担増、利用抑制の改定案を実施 ② 施設の多床室(相部屋)の室料を増やさないでください

しないことを求めて、「家族の会」は、 ③ 要介護1と2への訪問介護と通

12月13日、武見敬三厚生労働大臣 ④ ケアマネジメントの10割給付をに次の4項目の緊急要望書を提出し 継続してください

●12月18日までにかかった国の方針●

①「2割負担」拡大、③、④は先送り

介護保険の利用料を2割負担する 引き上げ、低所得者は引き下げる。人の対象拡大について、政府は先送 ケアプラン(介護サービスの計画)りを決めた。近く鈴木俊一財務相と の有料化や軽度者(要介護1、2)武見敬三厚生労働相との大臣折衝で 生活援助サービスなどの市町村事業「2027年度の前までに結論を得る」と への移行は「2027年度前までに結論を得る」とする。(12月19日付朝日新聞記事より抜粋)

介護保険の負担見直しでは、来年度から高所得の65歳以上の保険料を▲

(*「家族の会」では、議論が行われている社会保障審議会介護保険部会や介護給付費分科会で、諦めることなく、粘り強く過酷な負担増をやめるよう訴え続けました。そして、ギリギリ12月13日には緊急要望書も提出しました。樂觀はできませんが、少なくとも「2027年度前(2026年度末)」までは先延ばす」成果を得たといつていいと思います。)



渡辺俊之の「わが家の認知症ケア手帳」④
介護者の「つづい」 支え合う場

渡辺医院院長（精神科医、当会顧問） 渡辺俊之



私が出席している認知症の人と家族の会（群馬県支部）では、認知症の人の介護者が集まり、ケアの工夫、認知症についての新しい情報などを話し合っています。同じ経験を持つている者どうしなので、とげのない言葉には「真実とやさしさがこもっているな」といつも感じます。

つらい経験や苦勞の多い認知症介護者どうしが集まり、語り合うピアサポートは、この三つの条件を満たしてくれます。同じ経験者だからこそ信頼感があるし、他者から共感されることで自分を認めることができます。また、介護で工夫している点を伝えることで、他人に対して貢献できて、自己受容も高まります。

同じ経験、生きづらさ、葛藤、苦悩を抱えた当人や当事者どうしが話し合い、支え合う支援は「ピアサポート」と呼ばれています。ピアとは仲間という意味で、日本にはほかに、精神障害の家族会、心臓病の子どもを守る会など、様々なピアサポートが存在します。

読者の皆さん、「介護者サロン」「認知症の人と家族の会」などで、ネットで検索してみましよう。あなたの近くにあるピアサポートの場を探せるはずですよ。

アドラーという心理学者は、私たちが幸せを感じるための三つの条件として、

現在では厚生労働省も協力して、介護者のためのピアサポートの場を増やしてきています。

- ① 自分を認める（自己受容）
 - ② 他人を信頼する（他者信頼）
 - ③ 他人に貢献する（他者貢献）
- を挙げています。



情報

新しい治療薬「レカネマブ」の価格決まる
12月20日現在、決まった医療機関の情報なし
希望は持ちながら、過大な期待には慎重に

レカネマブについて公的保険の対象になることが13日厚生労働省の中央保険医療協議会で決まった。

（中等度まで進むと中止、状態を再評価になることが13日厚生労働省の中）
価）定期的に「γ」(磁気共鳴断層撮影)で副作用がおきていないか確認する。

レカネマブは、脳内にたまったアルツハイマー病の原因物質(アミロイドベータ)の除去を狙った国内初の薬で、2週に1回、点滴する。

初回投与から半年までは、専門医が複数回、MRIを備えていることなどを実施施設の要件とした。

対象は軽度認知障害や軽度認知症の人で、使用前に脳内にアミロイドベータがたまっていることをPET(陽電子放射断層撮影)や脳脊髄液の検査で確認する必要がある。(検査は全額自己負担)厚生労働省のガイドラインでは、投与期間は一年半を原則とし、半年ごとに効果を確認するとした。

要件を満たす機関は限られ、今年度は投与を受けられる患者数は400人、来年度は700人と見込まれる。

薬価は、年間298万円。高額医療費制度により、投与された人が70歳以上の一般所得者(年収156万円〜370万円)の場合、年14万4千円の支払いとなる。

この病院で治療が受けられることが決まったという情報はありません。決まった情報はなるべく早くお伝えしたいと思います。治療の対象となるには検査が必要です。対象になっても、点滴治療に耐えられるか、副作用ほどの程度か、などの懸念もあります。希望は抱きつつ、過大な期待は控えて正確な情報の把握に努めたいと思います。



編集後記

今年私は私生活ではともかく、「家屬の会」への取り組みという点では忙しさに流された反省させられる1年でした。皆さま、よいお年をお迎えください。(田部井)